

衛生委員会だより 2025年4月

～帯状疱疹ワクチン～



80歳までに3人に1人が発症するとされる「帯状疱疹」
2025年4月からは原則65歳を対象に、ワクチンが公費助成のある定期接種となりました。

■発症の仕組み

加齢、疲労、ストレスなどにより免疫の働きが低下すると、体内の感覚神経の根元に潜んでいるウイルスは再び増殖して、神経を伝わって皮膚の表面に達し、痛みを伴う発疹が現れます。

■症状

病変は神経抹消に出るために、**症状は体の左右どちらか片側に現れるのが特徴。**

【4月から始まる定期接種・2種類】

・生ワクチン

70歳を超えると効果が低下する。白血病や悪性リンパ腫などの免疫が低下してる人や、妊婦は接種不可。

・不活化ワクチン

ウイルスの表面にあるたんぱく質と、免疫を活性化する物質を組み合わせることで無毒化したもので、感染性はない。免疫が低下した人や70歳以上の人でも同様の効果が期待できる。

	生ワクチン	不活化ワクチン
成分	ウイルスを弱毒化	ウイルスを無毒化
免疫不全の人	受けられない	受けられる
接種回数	1回	2回
予防効果	50～60%	90%以上
持続期間	5年程度	10年程度
費用	1万円程度	2万円×2